

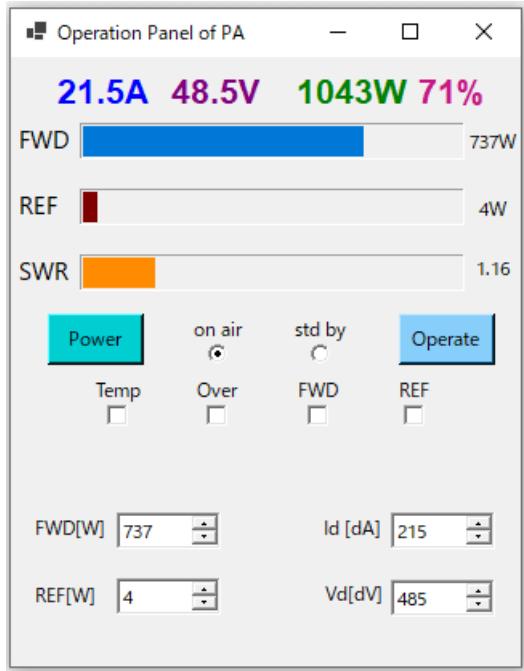
# 2024年7月 ブログ集

## 目次

7月 1日	続 VisualStudio で LCD 画面レイアウト設計.....	2
7月 2日	リニアアンプ操作パネルの画面作成.....	3
7月 3日	防除⑦・デラウェアと安芸クイーンの袋掛け.....	7
7月 4日	ピオーネの袋掛けを開始.....	8
7月 5日	SSのダイナモ用Vベルト交換で一苦労.....	10
7月 6日	モバイルクーラー・もう一つの配置.....	11
7月 7日	刈払機（草刈機）を修理.....	12
7月 8日	鮎釣りシーズンに向けての準備.....	14
7月 9日	シャインマスカットの最終摘粒および玉直し.....	15
7月 10日	鮎釣りシーズンに向けての準備（その2）.....	16
7月 11日	シャインマスカットの袋掛け.....	18
7月 12日	袋掛け完了！.....	19
7月 13日	JARL 銀バッジ.....	20
7月 14日	続・リニアアンプ操作パネルの画面作成.....	21
7月 15日	WSJT-X SuperFox モードを試してみた.....	22
7月 16日	安芸クイーンの棚下に反射シートを敷設.....	24
7月 17日	DUCATO の屋根にソーラーパネルを増設し合計 300W.....	25
7月 18日	第1次九頭竜川キャンプ初日.....	27
7月 19日	第1次九頭竜川キャンプ2日目.....	28
7月 20日	ピオーネの果粒軟化を確認.....	29
7月 21日	岡山ハムの集い.....	30
7月 22日	トウモロコシの命は短い.....	31
7月 23日	竿立てを作つてみた.....	32
7月 24日	白瓜の収穫.....	32
7月 25日	モモ（白鳳）の収穫・シャインマスカットの夏季剪定.....	33
7月 26日	ピオーネのビニール被覆を除去.....	34
7月 27日	防除⑧.....	35
7月 28日	やつと防除⑧完了.....	36
7月 29日	第1次高津川キャンプ初日.....	36
7月 30日	第1次高津川キャンプ2日目.....	37
7月 31日	第1次高津川キャンプ3日目.....	39

## 7月1日 続 VisualStudio で LCD 画面レイアウト設計

今日は朝から本降りの雨なので、無線小屋に籠ってプログラミングをして遊んでいます。昨日 VisualStudio で作成した LCD 画面のレイアウト設計に操作部を追加して、バーグラフや数値などの画面表示をリアルに変更できるようにしました。

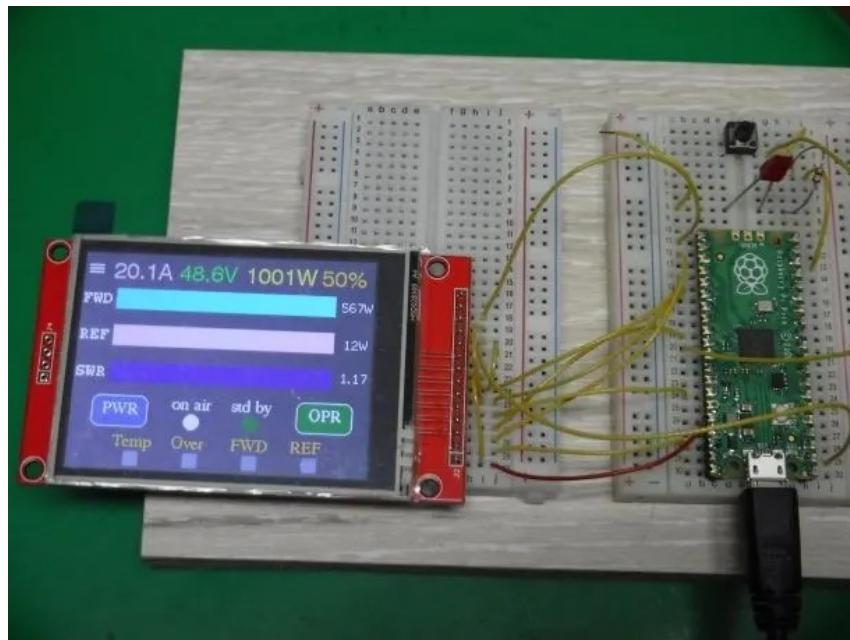


上段の数値は、左からドレン電流、ドレン電圧、入力電力、効率を示しています。実機ではドレン電流とドレン電圧は計測して取得します。入力電力は、ドレン電圧とドレン電流を掛けた値です。効率は、進行波電力（FWD）の入力電力に対する割合（%）を計算で求めます。FWD は進行波電力、REF は反射波電力で、実機では計測して取得します。SWR は、FWD と REF から計算により求めます。実機では計測して求める値4つの値を、4つの NumricUpDownControl を使って入力するようにしています。

LCD 画面レイアウトの設計を VisualStudio を使って行いましたが、この画面レイアウトは、WiFi 付きのラズパイ pico で実機を構成して、PC から WiFi で遠隔操作するようにした時に、そのまま再利用することができるので一石二鳥です。

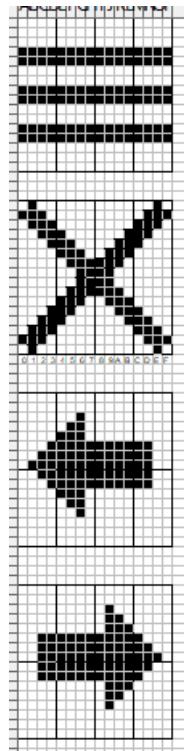
## 7月2日 リニアアンプ操作パネルの画面作成

一昨日から作成していた LCD パネルの画面設計を元に、実際に液晶パネルに描画してみました。パソコンの画面とは違って、使えるフォントの種類やサイズに制約があるので、表示場所を多少変更するなどのトリミングが必要でした。色に関しては 16 ビットカラー（6 万色）が使えるので問題はありませんが、背景色と表示する文字の色との関係で見にくくなったりするので、色々試してみました。色彩的なセンスは持ち合わせていませんので、いい加減なところで折り合いをつけました。



何種類かのアイコンも作成してみました。画面左上の横三本線のアイコンは、メニュー表示の意味で、此処をタッチすると保守用の画面が開くようにする予定です。

Arduino IDE の C++ ライクな環境で簡単にアイコンを定義するには、[XBM フォーマット](#)を使うと良いようです。16x16 ドットの小さなアイコンを作るあたり、表計算ソフト (OpenOffice の Calc) を使いました。Calc で方眼を作り、16 行 16 列のブロック内を黒か白かに塗り分けてアイコンを作りました。それを目で見て、2 進数 (16 進数) に手作業で変換します。



プログラムでは次のような表現になりました。

```
//16x16 XBM, 3 stripes for menu icon
const unsigned char menu_icon[] = {
    0x00, 0x00,
    0x00, 0x00,
    0x00, 0x00,
    0xff, 0xff,
    0xff, 0xff,
    0x00, 0x00,
    0x00, 0x00,
    0xff, 0xff,
    0xff, 0xff,
    0x00, 0x00,
    0x00, 0x00,
    0xff, 0xff,
    0xff, 0xff,
    0x00, 0x00,
    0x00, 0x00,
```

```
0x00, 0x00,  
};  
//16x16 XBM, X mark for exit icon  
const unsigned char exit_icon[] = {  
    0x02, 0x40,  
    0x07, 0xe0,  
    0x0c, 0x70,  
    0x1c, 0x38,  
    0x38, 0x1c,  
    0x70, 0x0e,  
    0xe0, 0x07,  
    0xc0, 0x03,  
    0xc0, 0x03,  
    0xe0, 0x07,  
    0x70, 0x0e,  
    0x38, 0x1c,  
    0x1c, 0x38,  
    0x0c, 0x70,  
    0x07, 0xe0,  
    0x02, 0x40,  
};  
//16x16 XBM, left-arrow for prev icon  
const unsigned char prev_icon[] = {  
    0x00, 0x00,  
    0x00, 0x00,  
    0x40, 0x00,  
    0x60, 0x00,  
    0x70, 0x00,  
    0xf8, 0x3f,  
    0xfc, 0x3f,  
    0xfe, 0x3f,  
    0xfc, 0x3f,
```

```
0xf8, 0x3f,  
0x70, 0x00,  
0x60, 0x00,  
0x40, 0x00,  
0x00, 0x00,  
0x00, 0x00,  
0x00, 0x00,  
};  
  
//16x16 XBM, right-arrow for next icon  
const unsigned char next_icon[] = {  
    0x00, 0x00,  
    0x00, 0x00,  
    0x00, 0x02,  
    0x00, 0x03,  
    0x00, 0x0e,  
    0xfc, 0x1f,  
    0xfc, 0x3f,  
    0xfc, 0x7f,  
    0xfc, 0x3f,  
    0xfc, 0x1f,  
    0x00, 0x0e,  
    0x00, 0x03,  
    0x00, 0x02,  
    0x00, 0x00,  
    0x00, 0x00,  
    0x00, 0x00,  
};
```

アイコンを表示するために、次のような関数を作成しました。

```

void showIcon(const unsigned char icon[], int16_t x, int16_t y, uint16_t color){
    tft.drawXBitmap(x, y, icon, 16, 16, color);
}

```

これを次のように呼び出して、任意のアイコンを指定した座標に指定した色で表示します。

```

showIcon(menu_icon, 5, 11, TFT_WHITE);
// showIcon(exit_icon, 294, 215, TFT_RED);
// showIcon(prev_icon, 5, 215, TFT_YELLOW);
// showIcon(next_icon, 30, 215, TFT_YELLOW);

```

## 7月3日 防除⑦・デラウェアと安芸クイーンの袋掛け

昨日まで湿っぽい天気が続きましたが、今日から数日間は晴れ間が広がるような天気予報だったので、今朝は少し早起きして、防除⑦をしました。SSは故障しているので、動噴で手遣りすることにして、オンリーワン（2000倍）、ランマン（2000倍）、ディアナ（10000倍）の薬液を100リットル調整しました。



動噴を使うのは1ヶ月振り位だったので、最初エンジンが中々掛からず苦労しましたが、何とかエンジンがかかり、1時間程で防除作業は終了しました。防除⑦は、袋掛け直前に散布した方が良いとのことなので、今日はデラウェアと安芸クイーンだけにしました。

防除作業の後、少し乾く程度に時間置いて、袋掛けをしました。



## 7月4日 ピオーネの袋掛けを開始

今日からピオーネの袋掛けを開始しました。昨日と同様、朝7時前から防除作業をして、9時頃から袋掛けを開始しました。昼からは歯医者に行く予定だったので、午前中に袋掛け出来そうなだけ防除しました。ピオーネは1スパンあたり15房をmaxとして摘房しながら袋掛けをしました。

ピオーネに掛ける袋の数は凡そ 3000 の予定です。今朝は約 360 房の袋掛けをしました。明日は、今日の倍の袋掛けをしたいと思います。ピオーネの袋掛けは、合計 4 乃至 5 日かかる見込みです。



## 7月5日 SSのダイナモ用Vベルト交換で一苦労

Monotaroで手配していたSSのダイナモ用のVベルトが配達されました。袋掛け前の防除⑦は、動噴を使って手遣りで散布しているので、直ぐにSSが使えなくても問題ありませんが、7月末頃に予定している防除⑧では、是非ともSSを使いたいので、なるべく早めに修理したいのです。ダイナモの取付ネジは2か所で、一つが支点になっていて、一つはバーで長さが調整できるようになっていました。両方のネジを緩めるとVベルトは掛けられましたが、長さが調整できる側のバーを固定しているネジが固着してビクとも動きません。このままでは、ネジでダイナモを固定できません。八角のメガネレンチでバーを固定しているネジを無理やり回して、ネジの角が壊れてしまいました。私の持っているボックスレンチではナットだけでも他の部品が邪魔になって入らなかったので、仕方なくメガネレンチを使ったのでした。

5-56を吹き付けるとか、-85℃の冷気が出るという殺虫スプレーを吹き付けるとか、バーナーで熱するとか色々試しましたが、どれも良い答えは出ませんでした。特に、バーナーで長時間炙るのはゴムや電線を焦がしてしまう心配があるので、短時間だけ炙ってみましたがダメでした。



ボルトを回さなくても、バーが動けば良いので、バーをバールで叩いてみると少しだけ動いたので、これで何とかVベルトを掛けることができ、バー側のネジもダイナモに挿し込んで取り付けることができました。ああ・・・やっとベルト交換ができました。

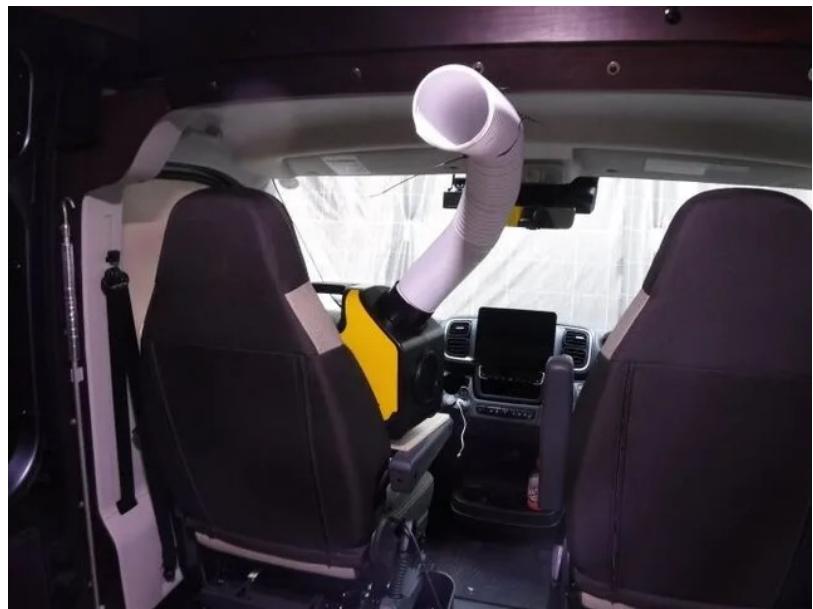


## 7月6日 モバイルクーラー・もう一つの配置

[6月27日のブログ](#)で紹介したモバイルクーラーの設置場所とは違う場所に設置してみました。理由は2つ。一つは冷え方がちやろい！もう一つは、1階部分のベッドにモバイルクーラーを設置すると、2名で寝る時には使えない！ということから別の方法を模索しました。

モバイルクーラーを助手席に設置し、吸排気口を助手席の窓に設けました。この方法だと、モバイルクーラーの吸排気口から外気までは短い距離で、抵抗も少なくて熱交換の効率が良くなるだろうと思うのです。客観的な性能比較はできていませんが、こっちの方が良さそうな感じです。





## 7月7日 刈払機（草刈機）を修理

今日は共同作業（草刈）の日でした。妻も草刈りに参加したのですが、妻専用の草刈機の調子が悪くなり、エンジンがかからなくなってしまったようです。エンジンが冷えた状態だと、エンジンが掛かるのですが、暫くすると止まってしまいました。エンジンが止まる前に、不整脈のような変な動きをした後に止まります。故障原因はプラグではなさそうです。以前、チェーンソーのイグナイター(ignition module)が故障したことがありましたが、よく似た症状だったような気がします。

刈払機のエンジンにはZENOAHのBC222EZとの表記があります。私専用の刈払機も同じメーカー・型番ですし、以前使っていたものも同じです。実は以前使っていた（故障した）刈払機を屑屋にも出さずに、そのまま保管していることに気付いたので、ニコイチで修理することにしました。同じ型番なので、まず間違いなく部品が流用できる筈です。自分でできそうなことは、自分でやる！これが南無ちゃん流です。ダメだったら農機具屋さんに持ち込むという最後の手段があるので、No problem



以前使っていた刈払機からイグナイターを取り外してパーティククリーナーで洗浄しました。この時、どこのネジを外せばイグナイターの交換ができるのかということも学習できました。以前、刈払機のキャブレータのダイヤフラムを交換したことがあります、今回取り外したイグナイターには、その時見た walbro の文字が見えました。私は機械屋ではないので詳しいことは知りませんが、walbro というのはこの世界で相当のシェアも持っているんでしょうね～！



イグナイターを交換して、エンジンを掛けようとしたが、リコイルスタータが回りません！ありや？・・・イグナイターと鉄心の付いたフライホイールのギャップはとて

も纖細なようで、イグナイターを取り付ける時にギャップを調整しながらネジを締めたところエンジンのシャフトが回るようになりました。

交換後、夕方 1 時間程試運転したところ問題なく使用できたので、ちゃんと修理できたものと思います。

## 7月 8日 鮎釣りシーズンに向けての準備

ピオーネの袋掛けは明日で終わる予定ですし、シャインマスカットの袋掛けも、できれば今週中には終えたいと思っています。ブドウの袋掛けが終われば、私の鮎釣りシーズン開幕です。ただし、何処の河川にいつ頃行くのかは梅雨前線次第です。

いつでも出かけられるように、鮎釣りの道具としてキャンピングカーをチューニングしています。モバイルクーラーの試運転をしましたが、消費電力が約 300W と大きいので、もっと消費電力の小さい扇風機（約 20W）も取付けました。



テーブルタップを柱に取り付けて、使い易くしました。矢崎のイレクターパイプで組んだ 2 段ベッドは、ハンガーを引っかけるのに好都合です。



## 7月9日 シャインマスカットの最終摘粒および玉直し

ピオーネの袋掛けは9時前に終わりました。一休みしてから、シャインマスカットの最終摘粒と玉直しの作業を開始しました。ピオーネの場合は、袋掛けの時に最終摘粒と玉直しを同時にやっていましたが、シャインマスカットでは、袋掛けする前に、これらの作業をしておこうというわけです。シャインマスカットは、ピオーネに比べて果粒の首が柔らかいので、玉直しがやり易いように思います。摘粒するよりも、玉直しすることで房形を整えた方が、目方を損なう心配がないというメリットがあります。

3週間程前に開催された管理講習会で配布された資料に、発泡スチロールを使った玉直しの例が掲載されていたので、早速ネット通販で発泡スチロールの球（直径1.5cm）を購入していたので試してみました。玉直しをしている時、ちょっとだけ支えのようなものが欲しいことがあります。そんな時には役に立つかもしれないと思ったのですが、使ってみて「無くても良いかな？！」と感じました。

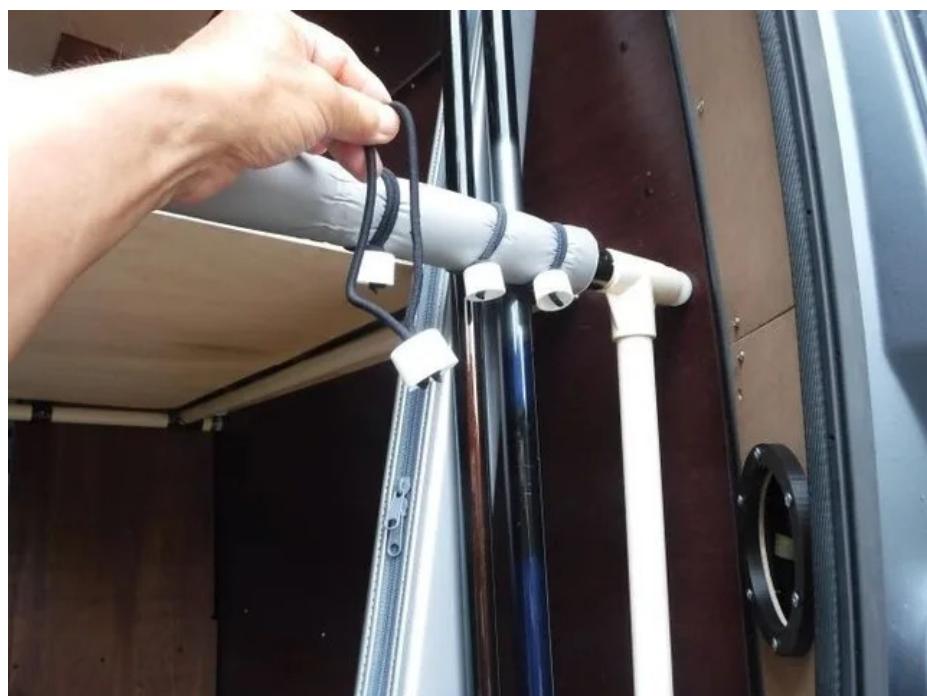
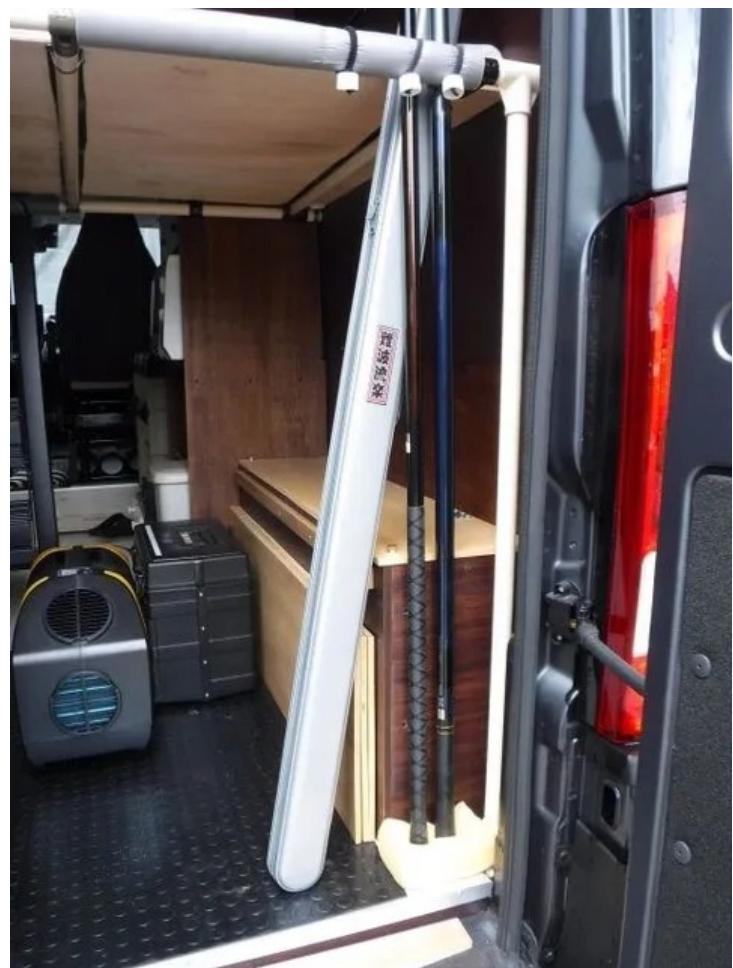
この発泡スチロールの球を、何時取り出すのか？という問題もあります。袋掛けの時に取り出すとすれば、それまでに形が決まるかどうか疑問ですし、収穫の時まで放置するというのも有かとも思います。こういうことをするのは今年が初めてなので、収穫時に取り出すということにしたいと思います。そうすれば、効果があったかどうかを確認し易いだろうと思うのです。



## 7月10日 鮎釣りシーズンに向けての準備（その2）

鮎釣りに限らず釣り道具として必須なのが釣竿です。私は、予備の竿は勿論、風の強さや釣り場の状況に応じて最適な竿を使い分けるために5本位の竿を携帯しています。

イレクターパイプで作った2段ベッドのフレームを利用して、竿の収納を考えました。イレクターパイプに塩ビパイプ用の断熱チューブを竿を保護するために取り付けて、ゴム紐で止めました。「玉つきバンジーコード」というような名称で市販されているようですが、手元にゴム紐だったので、PETボトルのキャップを利用して自作しました。



## 7月11日 シャインマスカットの袋掛け

今朝、未明には激しく雨が降っていましたが、目覚めた頃には降りやんでいました。雨雲レーダーの予測などを見ると曇りの状態が続きそうだったので、7時頃から防除⑦をして、9時頃から袋掛けを開始しました。

シャインマスカットにかける袋の色によって、糖度の乗り方に差が出るようなので、白半分、緑半分というように、2つの色の袋を使いました。白い袋の方が糖度上昇が早いので、早い時期に出荷できますが、反面、登熟するとやや黄色掛かった色になります。青い袋は、黄色いなることを予防し、瑞々しい緑色を保つので、長期冷蔵保存して年末に出荷するブドウには適しています。

折角2つの色の袋を使うので、比較的小さな房は白色、大きな房には青色の袋をかけることにしました。普通は、袋掛けが終わると、中に入っている房のサイズが分からなくなってしまいますが、一目で分かるので収穫時に役立ちます。



## 7月12日 袋掛け完了！

今朝、起きた時には未だ雨が降っていました。今日は、病院に薬を処方してもらうために朝8時前に出かけました。割と早く終わって、10時頃に帰宅できました。その頃には、晴れ間が出ていたので、残り1本となったシャインマスカットの樹に防除⑦をして、午後から袋掛けをしました。これで、全ての品種のブドウの袋掛けが終わりました。やつたあ！これで鮎釣りに行けるぞぉ！！！ただし、天気と川の状況次第ですけど・・・

今年は、ブドウ（特にピオーネ）の副梢がやけに伸びているような気がします。副梢が伸びていても、硬核期の間は切り戻しなどは控えなければなりません。あと10日位は静かに様子を見守るしかないのです。10日もすれば、果粒軟化が始まるので、余分な副梢を切り戻してすっきりする予定です。



## 7月13日 JARL 銀バッジ

JARL から封筒で何やら送られてきました。心当たりは無く、何だろうと思いつつ開封すると、銀バッジが同封されていました。贈呈理由は、贊助会員として9年間寄付（会費？）を続けたということのようです。3年前には銅バッジを頂いたようですが、お披露目することもなく、箪笥の何処かに眠っているのでしょうか。金バッジというのも規定があります。こちらは連続12年ということのようです。贊助会員を始めた頃には、このようなバッジの規定などはなく、これが欲しくて寄付を始めたのではありませんが、こうなつたらあと3年寄付を続けて金バッジまで頂きたい・・・などと思うのでした。



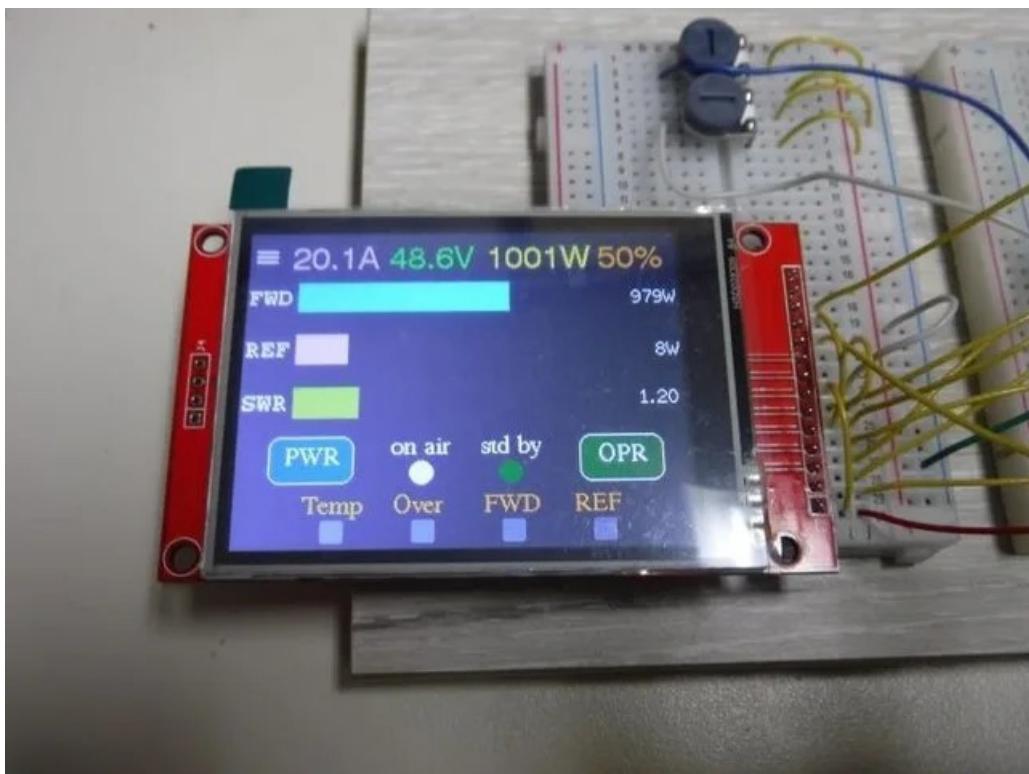
FT4GL を LoTW でコンファームできたので、LoTW で Mix が 325 エンティティーになりました。全エンティティー 340 まで残り 15 です。HonorRoll まであと 6 つです。HonorRoll になればピンバッジを購入することが可能になります。誰に見せる訳でもないので、今のところ欲しいとは思いませんが、もしかしたら 3 年で 6 つコンファームできるかもしれませんと淡い期待を持っています。

JARL の金バッジと DXCC の HonorRoll バッジのどちらを先にゲットできるでしょうか？！

## 7月14日 続・リニアアンプ操作パネルの画面作成

今日は一日中雨だったので、プログラミングをして遊びました。7月2日以来中断していたリニアアンプ操作パネルの続きです。画面の表示位置などは概ね決着したので、次は画面に動きを与える番です。ラズパイ pico にはアナログ入力として使えるピンが3つあります。このうちの2つに可変抵抗器を接続して、その電圧を進行波電力および反射波電力として表示させるようにしました。

2つの可変抵抗器をドライバーで回すと、進行波電力(FWD)と反射波(REF)のバーグラフと数値表示が変化するようになりました。



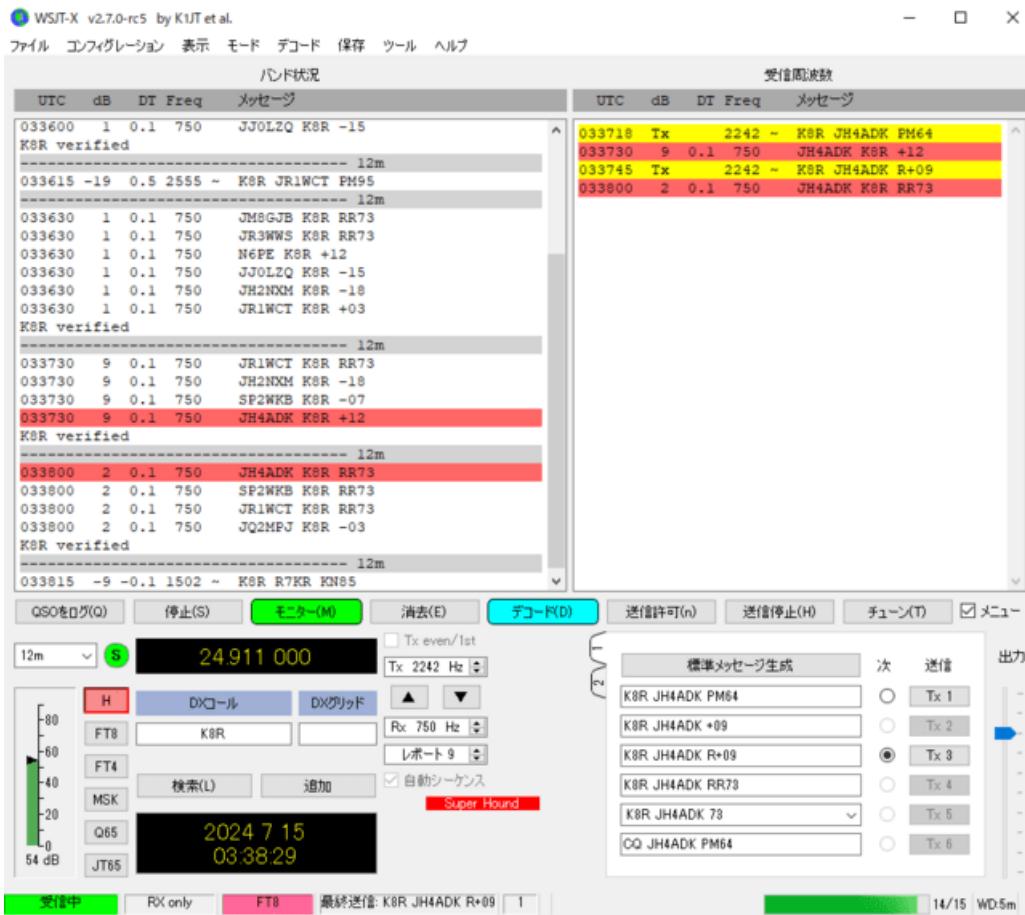
ドレイン電圧やドレイン電流なども AD 変換したいのですが、ラズパイ pico 内蔵のアナログ入力だけでは不足しています。I2Cなどをを使ってアナログ入力ポートを増やす必要がありそうなので、Amazon かどこかで調達しようと思います。

## 7月15日 WSJT-X SuperFox モードを試してみた

現在 QRV 中のアメリカンサモアへの DX ペディション局 K8R は、SuperFox モードで運用しています。梅雨入りしてからは、雷が怖いので無線機などの電源プラグやアンテナ類は外していましたが、SuperFox モードというのはどんなものなのか確かめたくて、無線小屋にやってきました。従来から FT8 に使用していた JTDX や WSJT-X の古いバーションではデコードすらできません。 (Houd として呼んでいる局はデコードできるので、誰を呼んでいるのは分かります。)

[SuperFox モードについては、8月に運用される N5J のホームページで詳しく説明されています。](#)

SuperFox モードをデコードするためには、最新の WSJT-X のお試しバーションである WSJT-X 2.7.0-rc5 を使用する必要があります。私の PC には、WSJT-X 2.6.1 がインストールされていましたが、SuperFox モードを試すために WSJT-X 2.7.0-rc5 をインストールして、K8R との QSO を試みました。インストールすると、程なくデコードできて、コールすると即座にコールバックがありました。SuperFox モードでのファースト QSO です。+12dB のレポートを貰いましたが、リニアアンプなしで 50W に絞って呼びました。



## 7月16日 安芸クイーンの棚下に反射シートを敷設

まだまだ鬱陶しい天気が続いているが、今朝は雨が上がっていたのでチャンスとばかりに、安芸クイーンの棚下に反射シートを敷設しました。昨年までは、デュポンの「タイベック400WP透水タイプ」を使用していましたが、流石に3年も使い回すと経年劣化したので、今年は「パールライトタフ SWH8」という別のタイプのものを新調しました。破れにくい、汚れにくいという謳い文句なので、長年使えることを期待しています。タイベックを敷設した時には、シートを固定するためにUピンで留めたのでシートに穴が明きました。今年はこれを防ぐために、Φ19の直管パイプとパッカーを使って固定しました。



反射シートの敷設が終わった後で、デラウェアの様子を見に行くと、果粒軟化が始まっています。ほんのりと色付き始めました。果粒軟化が始まつたのなら枝の切り戻しの時期なので、切り戻し作業をしました。

もしかしたら・・・と思って、再び安芸クイーンの様子を見に行くと、こちらも果粒軟化が始まっています。昨年よりもちょっと早めですが、枝の切り戻し作業を開始しました。すると雨が降り始めたので、作業を中断して、午後から歯医者に行きました。4時頃に歯医者から戻ってくると雨が上がっていたので、安芸クイーンの枝の切り戻し作業を続行し、6時頃までには完了しました。

## 7月17日 DUCATOの屋根にソーラーパネルを増設し合計300W

今日は久々の良い天気になりました。ブドウの世話も一段落着いたので、キャンピングカーを弄って遊びました。近所の川でも水位が高く、まだ九頭竜川に行くのは早すぎるような感じですが、来週には梅雨明けすると思われる所以、ちゃんと準備しておくことが肝要です。DUCATOをキャンピングカーに改造するにあたり、100Wのソーラーパネルを3枚設置する計画でしたが、1枚だけ先行して取り付けて、車内の配線を完了して試運転していました。シーズン本番を目前にして、遂に2枚増設して3枚にする時がやって来たのです。電気工事としては至って簡単で、3枚を直列接続するだけです。



屋根に取り付けたレール（アルミ角パイプ）には予め取り付け用の穴にはM6ネジが切ってあるので、2時間程で取り付け完了しました。現物合わせでソーラーパネル側のアルミフレームに3.4mmの穴を明けて、M4のタップを立てました。



現物合わせで、ソーラーパネルのフレームにネジを切るために、取り付ける順番を工夫したつもりですが、結局、付けたり外したりして結構手間が掛かりました。最初に3枚のパネルの両側のパネルのフレームにネジを切り、それらをレールから取り外して、最後に真ん中のパネルのフレームにネジを切りました。



バッテリーとチャージコントローラは、前のキャンピングカーであるハイエースで使っていたものを流用しています。MTTPチャージコントローラの仕様を良く読むと、Max

PV Input Power(12V System) 260W となっていて、定格を超えていました。ソーラーパネルはLVYUANの100W 20Vのものです。公称値であり実力的には80W位なので、ギリギリセーフかな?と勝手に判断しています。まあ、チャージコントローラが壊れたら、新しいものに買い替えるチャンスが巡って来たと前向きに捉えることにします。あるものは使わないとモッタイナイ!のココロです。内心、バッテリーをリチウム系のモノに買い替えて、チャージコントローラもリチウム電池に対応したものに買い替えたいたのですが、敢えてあるものを使っています。

冷凍冷蔵庫の消費電力が約40Wですが、ソーラーパネルの電力だけで賄いたいと思って3枚に増設しました。果たして、この目的は叶えられるでしょうか?次のようなタヌキカリキュレーションではOKと出ていますが、一日中曇りの日や雨の日もあるので、そういう時はモバイルバッテリーの力を借りる必要があるんでしょうね。

- ・日中の4時間は240Wで発電すると仮定すれば、40Wを冷蔵庫で消費し、残り $200W \times 4 = 800WH$ を蓄電できる。

- ・それ以外の日中4時間は100Wで発電すると仮定すれば、40Wを冷蔵庫で消費し、残り $60W \times 4 = 240WH$ を蓄電できる。

- ・上記以外の16時間の発電量は0Wとすると、 $40W \times 16 = 640WH$ をバッテリーから消費する。

- ・消費量よりも蓄電量の方が400WH上回っている。

- ・12V 120AHのバッテリーは1440WHなので、40Wの冷蔵庫だけなら36時間運転できる・・・筈だけどそんなに長く運転できたかしら?

## 7月18日 第1次九頭竜川キャンプ初日

深夜割が利用したくて、午前2時半頃に目覚めたついでに奈良に向けて出発しました。目的は、鮎釣りの師匠である○下さんが足の手術をして自宅で療養中なのでお見舞いするためです。下手にカーナビを信じたところ、淀川を渡る頃から地道を案内されて、車幅の狭い守口市街を引きずり回されて泣く目に遭いました。幸い電柱や対向車と事故することもなくなんとか辿り着きましたが、二度とDUCATOで通りたくないです。

生駒の○下さんを見舞うのが目的で、雨でも降っていれば自宅に引き返そうかと思っていましたが、余りに天気が良くて暑くて暑くて、もう川に浸かりたい( ^ω^ )・・・

と思うとどうしようもなくて北陸道に進んでいました。モリイシ釣具店に着いたのは3時頃でした。早速、年券とオトリを仕入れてマイポイントの飯島に向かいました。水が60cm位高いのは事前に知っていたので驚きませんでしたが、左岸には釣り人がゼロでした。右岸では林プロと長良帽オヤジさんの2名が釣っていました。

永平寺町の気温は34℃、九頭竜川の水温は19.2℃でした。鮎が掛かろうが掛かるまいが、とにかく川に浸かれば天国！！ お股が冷えると気持ち良いのです！！！

4時から5時までの1時間で5尾の釣果でした。サイズは大きいので20cm位でした。最後は、親子どんぶりをやらかしてしまったので、ジエンドにしました。



## 7月19日 第1次九頭竜川キャンプ2日目

今朝7時の水温は16.8℃、濁りなし、水位は昨日より10cm位下がって50cm高。

水温が少し低いので、早朝から川に入るには止めて仕掛けを作りました。昨日、道〇さんに貰ったツイストの掛けバリが凄くよかったです、同型のハリを4本巻きました。ついでに、鼻環まわりも4セット作りました。今年初めて仕掛けを作りました。今回は短期間で引き揚げようと思っていますが、ちゃんと仕掛けを作ることができるかどうか、道具を忘れていないかとか、キャンピングカーのテーブルが役立つかどうかを試すという意味も

あります。まだ、ブドウの作業が残っているので、今回のキャンプは予行演習・リハーサルというようなものです。

正午頃には一旦から上がって、食事を摂って、昼寝をしようと試みましたが、クーラー無しでは無理です。今日は薄曇りですが、とにかく暑いです。

このブログを書いている途中で、永平寺町の天気予報を見ると、夕方6時頃から雨の予報です。明日は一日中雨の予報です。当初は明日、帰ろうかと思っていましたが、予定を繰り上げて今夜帰路に就くことにします。



## 7月20日 ピオーネの果粒軟化を確認

今朝、九頭竜川から帰ってきました。九頭竜川から帰った理由は、天気が悪くなりそうというだけではありません。そろそろピオーネが果粒軟化するのではないかと気になっていたのです。早速、ブドウ園に行って、袋を開いて触ってみると・・・ぽよよん～！と柔らかい出ざわりです。果粒軟化が始まっています。

ということは、夏季剪定の時期なのです。伸び放題に伸びている枝を房先7枚で摘心したあたりまで切り戻す作業を始めました。暑い時期ですし、ボチボチのんびりとやりましょう。



## 7月21日 岡山ハムの集い

今日、梅雨明けしたらしくて暑い日でした。早朝から9時頃までブドウの夏季剪定をして、その後、町内のハム友である小〇さんと一緒に真庭市北房まで出かけました。岡山ハムの集いというのがあるらしいので、行ってみたのです。実は、40年以上JARLの会員を続けていますが、岡山県支部の集会というのに参加するのは今回が初めてです。感想はというと、・・・？って感じでした。会場内は冷房が効いていて快適でした。

2時頃には帰宅できたので、その後は引き続きブドウ園に行って夏季剪定をしました。暑いけれど、空調服を着て頑張りました。



## 7月22日 トウモロコシの命は短い

先週九頭竜川に行く前に、トウモロコシを試しに収穫してみたところ丁度良い感じでした。一度に全部収穫しても良い保存方法を思いつかなかったので、そのままにしておきました。今日、食べようと思って収穫してみたところ、トウモロコシの粒にえくぼが出来ていて、旬を過ぎたような感じでした。

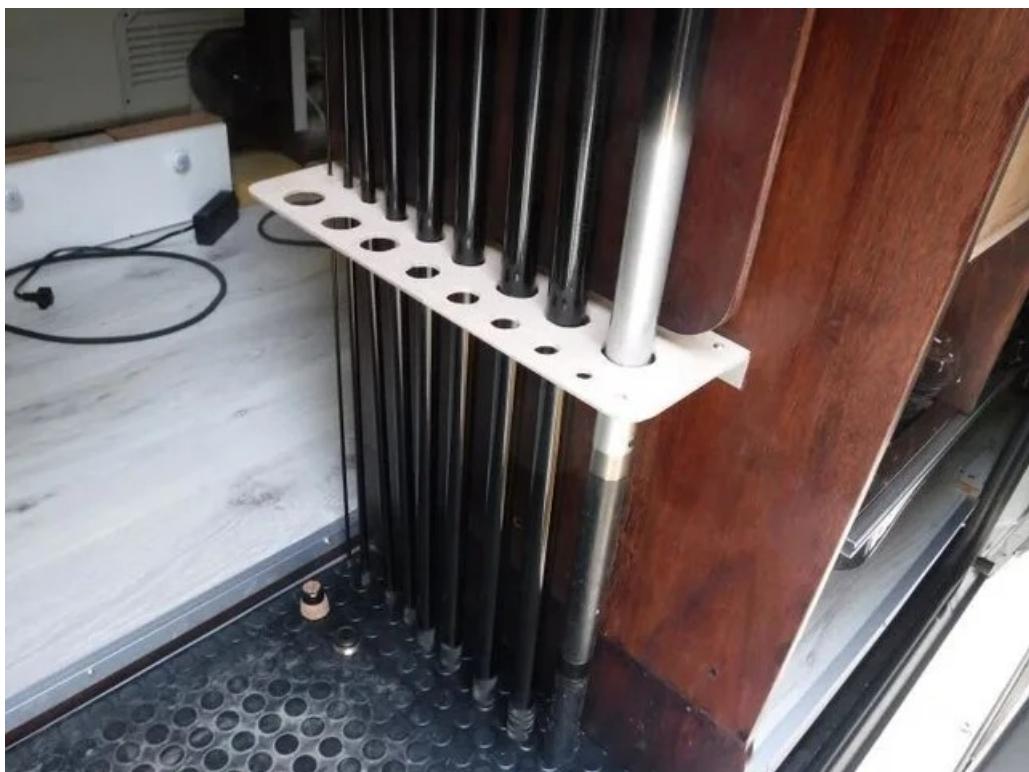


今年はトウモロコシを30本植えて、先週までに半分程収穫しました。今日、7つ程収穫したのであと7つ位残っています。これらも明日には収穫して、茹でて冷蔵庫で保存するなどしようと思います。トウモロコシの収穫時期っていうのは意外に短いモノなんですねえ～！

## 7月23日 竿立てを作つてみた

ハイエースの時には無理でしたが、DUCATOの室内高ならではの装備を作つてみました。鮎竿用の竿立てです。九頭竜川にキャンプに行くと1週間位は滞在するので、竿を乾燥するために竿立てが欲しかったのです。特に、九頭竜川では竿を濡らすことが多いので、毎日でも竿を乾かしたいのです。

以前、日高川で買った竿立てを家では愛用していますが、8本しか入りません。11mのDAIWAの狙いは9本継ぎで、かつ元竿が太いので、これにも対応できるようにしました。折角作るのですから、欲張つて2本の竿を同時に立てることができるようにしました。



## 7月24日 白瓜の収穫

ちょっと前から気にはなつていたのですが、そろそろ白瓜が熟れているのではないかと思って行って見ると、少し大きくなり過ぎたような感じです。形が小さいのであれば放置して成長を待つという選択肢もありますが、大きくなり過ぎというのでは、収穫という一択のみです。写真の3倍位の量がありましたので、近所中に配りました。まだ花が咲いていますし、小さい実がそこそこ付いています。



ブドウのお世話の方は、ピオーネの夏季剪定がやっと終わりました。ピオーネは色付き始めています。シャインマスカットも果粒軟化し始めたようなので、こちらも夏季剪定の時期です。やることが多くて中々鮎釣りに行けません。(; 'д `)トホホです。

## 7月25日 モモ（白鳳）の収穫・シャインマスカットの夏季剪定

朝一番の涼しい時間帯に、モモの集荷をしました。次の作業予定があったので、選果もしないまま、コンテナごと冷蔵庫に放り込みました。昼間の暑い時間帯に、冷蔵庫で選果作業をすれば涼しいだろうなあ・・・という思惑です。でも、今日は忙しかったので、選果作業は後日に見送りです。

シャインマスカットも果粒軟化が始まっているので、夏季剪定を開始しました。昼間の暑い時間帯も空調服を着て頑張ってやった結果、夕方までには作業を完了しました。

夕方5時半頃から、安芸クイーンのビニールを外す作業をしました。今まで、夏にビニールを取り外したことは一度もありません。初めての経験です。着色が良くなるのではないかとの期待からです。



## 7月 26日 ピオーネのビニール被覆を除去

ピオーネのビニール被覆の除去作業を開始しました。明日も同じ作業をする予定です。私の園地は標高 430m という町内でも比較的高い場所にあるので、ビニール被覆を除去しなくても大丈夫だとタ力括っていましたが、近頃の暑さは従来とは段違いなので、ピオーネの色付きが悪いなあ・・・と思うようになりました。

ブドウを栽培し始めて 12 年目ですが、今年初めてピオーネのビニール被覆を除去することにしました。梅雨明けの土用の頃といえば暑さの真っ盛りなので、辛い作業です。特に今日はお日様が出ている時間が長かったので、暑さもひとしおでした。昼過ぎに 1 時間程昼寝をしたらスッキリしました。



## 7月27日 防除⑧

昨日の続きのビニール除去作業が残っていますが、夏季剪定もできたので防除⑧をしました。安芸クイーンの棚下には反射シートを敷いているので、ここだけは手遣りで散布する必要があるので、薬液100リットルを調整して動力噴霧器で散布しました。



その他の棚はSSで散布しようと思って、SSのエンジンを掛けて給水できる場所まで移動し、水を汲み、薬液を調整していたところ、農薬の一部が不足していることが判明したので、急遽農協に買いに行って、再開しようとしたところ、SSのエンジンが掛かりませんでした。あれこれしていると10時を回っていたので、今日の農薬散布は断念しました。

それにしても、中古で買ったSS（スピードスプレーヤー）ですが、何という信頼性の低さでしょう！！使おうと思った時に使えないなんて最悪です。これも日頃のメンテを怠っているから・・・ということなので自分が悪いのです。

バッテリーが悪いのか、セルが回りません。衝動買いかもしれません、こんな時に、こんなもんがあれば良いのに！・・・という理由で、amazonで「DINKLEN ジャンプスタートーター」をポチッとしてしまいました。この品物は明日配達される予定ですが、配達されるのを待っていたのでは防除作業は明後日に延期されてしまいます。しんどいけれども手遣りで動力噴霧器を使って散布すれば、明日の朝にでも実施可能です。さて、どうしたものでしょうか？

早くブドウの世話をキリをつけて、鮎釣りに出かけたいというのが本音です。

農薬散布はさておき、ビニール除去作業を引き続き行い、19時頃までかかりましたが、やっと完了しました。

## 7月28日 やっと防除⑧完了

暑い日が続いている。もともとしていると鮎釣りに行けなくなってしまいます。朝5時に起床して、昨日に続き防除⑧をしました。バッテリーを一晩充電したのですが、結局SSのエンジンは始動しなかったので、仕方なく動力噴霧器を使って、手遣りで防除作業をしました。この時期の防除作業が一番きついです。そのためのSSなのに～！！！SSのタンクに薬液を調整していたので、動力噴霧器でSSのタンクからポンプアップするという変則的な方法になりました。



やっぱり手遣りの防除作業はきつかったです。仕舞には手袋なんか脱ぎ捨てて、防護服の下は肌着になってやっていました。

遅くなりましたが、農作業はこれで万全です。残りのDMも発送準備ができたので、バックログは無くなりました。

## 7月29日 第1次高津川キャンプ初日

昨夜0時頃に家を出発して、途中で2回程仮眠して、高津川漁協の本所に就いたのは7時過ぎでした。年券とオトリを仕入れて、支流の匹見川に行きました。流石に月曜日とあって、釣人の影はまばらです。私の好きなポイントに入って、1時半頃までに20尾程の釣果でした。サイズは大きいので23cm位、小さいのは15cm位でした。



午後1時半頃には川から上がって、日原の道の駅シルクウェイに2時過ぎに到着しました。ここで電源を借りる手続きをしてました。これで、此処に滞在する予定の3日間は電気が使い放題です。モバイルバッテリーの充電の他、冷蔵庫、クーラーなどをフル稼働させました。

## 7月30日 第1次高津川キャンプ2日目

高津川キャンプの宿营地は、道の駅シルクウェイにちはらです。此処には6月中旬からずっと滞在されているという小野○さんをはじめ、鮎釣りをこよなく愛する人達が大勢います。今朝も岡山から駆け付けた守○さんと合流しました。



高津川の状況ですが、本流は水温が高くて温泉状態なので、釣った鮎を引き船に入れていると弱ってしまうらしいのです。実際、道の駅の裏にあるプールにオトリを引き船に入れて繋いでいたら、今朝までに全部死んでいました。九頭竜川とは様子が違います。

そんな訳で、今日も匹見川方面を目指しました。しかし、匹見川は川幅が狭くて車を留める場所が限られているので、平日と言えどもポイントの選定に困ります。

今朝一番には長沢トンネル入り口の瀬に入りました。先行者が一人居ましたが、瀬が2本あるので、一人一瀬と言われても大丈夫です。15分位かけて水合わせをしている間、先行者の状況を見ていましたが芳しくありません。慎重に瀬肩から攻めてなんとか5尾程ゲットできましたが、瀬ではちっともかかりませんでした。11時頃には見切りをつけて昼食にしました。

このまま道の駅に帰って昼寝するというのも寂しいので、匹見温泉にでも入るか・・・と思って車を走らせていると、第2長沢トンネル出口の瀬に誰も居なかつたので、此処に入りました。3時頃まで釣って、10尾程ゲットできました。温泉に入るには良い時間なので、匹見温泉に行ってみると「定休日」でした。代わりに津和野の温泉にでも行くかと思って車を走らせると、シルクウェイの戻った頃には5時近かつたので、駐車場に立ち寄ってみると、守〇さんも戻っていたので、温泉は中止して、そのまま道の駅で一緒に食事をして、車に戻って宴会になりました。

## 7月31日 第1次高津川キャンプ3日目

今朝も7時頃から匹見川方面に出かけました。昨日釣った釣り場はアクセスが良かったので、川に鮎をオトリ箱に入れて浸けておいたのです。こうすれば、水合わせをする時間が節約できると思ったのですが、考えが浅かったようです。匹見川は遠いし、今朝は昨日よりも人が多くて入る場所が更に限定されていました。道の駅までオトリを持って帰っていれば、本流でも何処でも移動できたのに・・・と後悔です。やっぱり、鮎釣りは「1にポイント、2にオトリ・・・」と言われるように、ポイント選定が最も重要ですね～！結局今朝は11時までに1尾という釣果でした。

早めの昼ご飯にして、他のポイントに入ってみましたがピリともしませんでした。明日は用事があるので、1時頃には切り上げて帰途に就きました。途中、眠くなつたので、浜田の道の駅で1時間程昼寝しました。昼間の移動はやはり暑いです。家に到着したのは、午後7時頃でした。